小学校 3年 理科「昆虫の育ち方」

授業のねらい

いろいろな昆虫の育ち方を調べることを通して、昆虫には、卵→幼虫→さなぎ→成虫の順に育つものと、さなぎにはならずに卵→幼虫→成虫の順に育つものがいることを理解する。

ICT活用の工夫

○「ブリタニカスクール・エディション」を活用した調べ学習

3年生という発達段階を考慮し、インターネット検索で目的の情報にたどり着くことが難しい児童も多いと考えた。そこで、ブリタニカの「教科べんり事典→理科→3年→昆虫の育ち方」の中から興味をもった昆虫の育ち方を調べた。卵→幼虫→さなぎ→成虫のイラストもあるので、そこの部分をスクリーンショットして画像として活用する方法も伝えた。



○ミライシード「オクリンク」を活用した情報共有、発表

卵→幼虫→さなぎ→成虫の成長段階ごとに1枚のカードとして、画像を貼り付けてまとめた。調べた情報はノートに記録し、発表の際には卵のカードから見せながら説明をした。聞き手の児童は、何の昆虫の育ち方を調べたのかを予想しながら説

明を聞くようにした。発表会後には、提出ボックスを児童が自由に見られるようにして、さなぎになる昆虫とさなぎにならない昆虫の分類などを見返して情報共有ができるようにした。



児童の様子

- ○ブリタニカでの調べ学習は一度の説明で、上手く情報を調べることができていた。ブリタニカ以外にも図鑑で調べ、写真を撮って活用する児童や、インターネット検索で自分の調べたい昆虫を見つけ出してまとめる児童もいた。
- ○オクリンクでの発表により、一人一人が自分のタブレットで発表者のカードを見て説明を聞くことができ、 集中して学習に取り組むことができた。また、何の昆虫なのか児童が予想して発表することができた。



【実際の児童の作品】

成果

- ○ブリタニカの活用により、調べ学習にかかる時間が短縮できた。また、必要な情報がまとめられているため、タブレット操作やインターネット検索が苦手な児童でも自力で調べることができた。
- ○図鑑の活用やインターネット検索なども併用して、自分ができる、調べたい方法を各自が選択し、個別最適化した調べ学 習ができた。
- ○オクリンクでの情報共有により、短時間で多くの情報に触れることができ、学習を広げることができた。

課題

○ブリタニカの情報だけだと同じ昆虫を調べる児童が多くなってしまうなど、情報が偏ってしまう面もある。児童の実態に応じて、ブリタニカを活用するだけでなく、その後、目的に応じて様々なところから情報を検索させて調べ学習を広げさせるなどの活用方法を検討するとよいと感じた。